

松本歯科大学では、以下の研究を実施しています。本研究について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ先」までご連絡ください。

また、本研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を本研究に利用されることを希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

研究の名称	頸動脈狭窄症と口腔および全身との関連性の解明
研究責任者	歯科補綴学講座 助教 柴田幸成
研究期間	2026 年 7 月 13 日～2030 年 3 月 31 日
研究の目的・概要	首の血管（頸動脈）が動脈硬化によって狭くなる「頸動脈狭窄症」は、脳梗塞などの重大な疾患の原因となることがあり、早期発見が重要です。頸動脈の動脈硬化が進行すると血管壁に石灰化が生じることがあり、歯科で撮影されるパノラマ X 線画像上に白い陰影として描出される場合があります。 本研究では、当院で撮影されたパノラマ X 線画像における血管石灰化像に着目し、診療記録とあわせて解析することで、口腔内の状態および全身疾患との関連性を明らかにすることを目的としています。これにより、医科歯科連携の推進および患者様の健康増進への貢献を目指します。 なお、本研究は既存の診療情報のみを用いて実施するため、新たな検査や治療をお願いすることはありません。
利用又は他機関に提供する情報	松本歯科大学病院初診室および補綴科を受診し、パノラマ X 線画像を撮影した患者様を対象とし、以下の情報を利用します。 情報: パノラマ X 線画像、年齢、性別、残存歯数、歯周炎の進行状況、歯科的既往歴、全身既往歴、喫煙歴などお口と全身に関する情報
試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供する場合はその方法を含む）	この研究では、氏名などの個人を特定できる情報を削除し、研究用の符号を付与した連結可能匿名化の状態データを取り扱います。対応表は研究責任者が厳重に管理し、研究担当者以外が閲覧することはありません。 また、この研究で得られた情報は、松本歯科大学内でのみ利用し、外部機関へ提供することはありません。
試料・情報を利用する者の範囲	・松本歯科大学 歯科補綴学講座 助教 柴田幸成、教授 樋口大輔 ・松本歯科大学 初診室（総合診断科・総合診療科） 特任教授 内田啓一、森啓、講師 高谷達夫 ・松本歯科大学 歯科保存学(歯周) 教授 吉成伸夫、准教授 出分菜々衣、助手 洪鈺綺
問い合わせ先	松本歯科大学 歯科補綴学講座 助教 柴田幸成 電話: 0263-51-2047